

群像新人文学賞当選作・優秀作一覧

回数	発表号	小説・当選作	著者	小説・優秀作	著者	評論・当選作	著者	評論・優秀作	著者
1	58.8	当選作なし		優秀作なし		寶石の文學	足立 康	優秀作なし	
2	59.6	当選作なし		優秀作なし		活力の造形	佐野金之助	優秀作なし	
3	60.5	魔笛	古賀珠子	優秀作なし		小林秀雄	秋山駿	優秀作なし	
4	61.5	当選作なし		逆縁（*最優秀作）	成相夏男	齋藤茂吉論	成相夏男	優秀作なし	
5	62.5	日蝕	西原 啓	優秀作なし		私小説論の成立をめぐる	大炊 絶	優秀作なし	
6	63.5	重い車	文澤隆一	優秀作なし		中野重治論序説—その詩集の意味するもの	月村敏行	優秀作なし	
7	64.5	どくだみ	三好三千子	優秀作なし		龜井勝一郎論	松原新一	優秀作なし	
8	65.5	砂の関係	黒部 亨	優秀作なし		三島由紀夫と大江健三郎	渡邊廣士	優秀作なし	
9	66.5	当選作なし		一坪の大陸（*最優秀作）	畑山 博	当選作なし		伊藤整の方法 吉本隆明	曾根博義 近藤 功
10	67.5	骨	近藤弘俊	優秀作なし		大岡昇平論 自己救済のイメージ—大江健三郎論	宮内豊 利澤行夫	優秀作なし	
11	68.6	三匹の蟹	大庭みな子	ドン・ペドロ二世ホテル	深井富子			「現代の神」を求めて	小松万佐子
12	69.6	またふたたびの道	李 恢成	優秀作なし		〈意識〉と〈自然〉—漱石試論	柄谷行人	優秀作なし	
13	70.7	出発の周辺	勝木康介	優秀作なし		当選作なし		優秀作なし	
14	71.6	髪の花 チョーク	小林美代子 広川禎孝	優秀作なし		当選作なし		優秀作なし	
15	72.6	当選作なし		優秀作なし		ギリシア人の歎き—悲劇に於ける宿命と自由との関係の考察	西村 亘	優秀作なし	
16	73.6	当選作なし		優秀作なし		傷痕と回帰—「月とかがり火」を中心に	本村敏雄	大江健三郎論—精神の位相というその顔立	原口昭夫
17	74.6	迪子とその夫 退屈しのぎ 或る回復	飯田 章 高橋三千綱 森本 等	優秀作なし		我を求めて—中島敦による私小説論の試み	勝又 浩	優秀作なし	
18	75.6	祭りの場	林 京子	隠された声	小松紀夫	当選作なし		文学に於ける自己と所有	藤林靖晃
19	76.6	限りなく透明に近いブルー	村上 龍	海の幸	来島潤子	当選作なし		蟻地獄の研究—平野謙論	羽原 譲
20	77.6	当選作なし		鏡の中のガラスの船 とても自然な、怯え方	山川健一 倉内保子	文学の輪郭	中島 梓	優秀作なし	
21	78.6	永遠に一日 海を感じる時	小幡亮介 中沢けい	優秀作なし		当選作なし		優秀作なし	
1	78.12	《新人長篇小説賞》 カリフォルニア	土居良一						
22	79.6	風の歌を聴け	村上春樹	優秀作なし		当選作なし		文学の終末について 意識の暗室	宇野邦一 富岡幸一郎
2	79.12	《新人長篇小説賞》 忍耐の祭 流謫の島	山科春樹 五十嵐勉						
23	80.6	昼と夜	長谷川卓	優秀作なし		当選作なし		異様なものをめぐって—徒然草論	川村 湊
3	80.12	《新人長篇小説賞》 旅する前に 序章	大高雅博 今井公雄						
24	81.6	極楽	笹野頼子	優秀作なし		齋藤緑雨論	小林広一	優秀作なし	
4	81.12	《新人長篇小説賞》 さようなら、ギャングたち	高橋源一郎						
25	82.6	当選作なし		うさぎ	池田基津夫	コスモスの知慧	加藤弘一	優秀作なし	
5	82.12	《新人長篇小説賞》 プレリュード 前奏曲	有為エイン ジェル						
26	83.6	草のかんむり	伊井直行	優秀作なし		物語の身体—中上健次論 ファルスの複層—小島信夫論	井口時男 千石英世	優秀作なし	
27	84.6	ダミアンズ、私の獲物	華城文子	優秀作なし		当選作なし		生成する「非在」—古井由吉をめぐる 生きられた自我—高橋たか子論	松下千里 山内由紀人
28	85.6	ゼロはん	李起昇	ジパング	吉目木晴彦	当選作なし		優秀作なし	
29	86.6	復活祭のためのレクイエム	新井千裕	優秀作なし		記述の国家—谷崎潤一郎原論	清水良典	小林秀雄への共感的反逆—後発者柄 谷行人の“場所”	島 弘之

群像新入文学賞当選作・優秀作一覧

回数	発表号	小説・当選作	著者	小説・優秀作	著者	評論・当選作	著者	評論・優秀作	著者
30	87.6	あなたについて わたしについて ポートレート・イン・ナンバー	下井葉子	優秀作なし		帰属と彷徨—芥川龍之介論	高橋勇夫	優秀作なし	
31	88.6	アルチュール・エリソンの素描	鈴木隆之 石田郁男	優秀作なし		零の力—J.L. ボルヘスをめぐる断章	室井光広	三島由紀夫とニーチェ—悲劇的文化とイロニー	青海 健
32	89.6	当選作なし		走る男	上原秀樹	当選作なし		修業者の言語—中原中也試論	石川忠司
33	90.6	コンビニエンス ロゴス	高野 亘	優秀作なし		『豊饒の海』あるいは夢の折り返し点	森 孝雅	カーヴァーが死んだことなんてだあれも知らなかった—極小主義者たちの午後	風丸良彦
34	91.6	かかとを失くして	多和田葉子	優秀作なし		異邦の友への手紙—ロラン・バルト『記号の帝国』再考	渡辺 諒	静かなるシステム	佐飛通俊
35	92.6	当選作なし		鳩を食う	中野 勝	二つの「鏡地獄」—乱歩と牧野信一における複数の「私」 小林批評のクリティカル・ポイント	武田信明 山城むつみ	優秀作なし	
36	93.6	当選作なし		暗い森を抜けるための方法 氷の海のガレオン	足立浩二 木地雅映子	『あらくれ』論	大杉重男	優秀作なし	
37	94.6	アメリカの夜	阿部和重	当選作なし		原形式に抗して 哀しき主—小林秀雄と歴史	池田雄一 紺野 馨	優秀作なし	
38	95.6	当選作なし		離人たち 影をめぐるとき	団野文丈 萩山綾音	当選作なし		優秀作なし	
39	96.6	やさしい光	鈴木景子	足下の土	堂垣園江	当選作なし		由美ちゃんとユミヨシさん—庄司薫と村上春樹の「小さき母」 語りの事故現場	川田宇一郎 高原英理
40	97.6	秒速10センチの越冬	岡崎祥久	優秀作なし		逆説について	齋藤礎英	『細雪』試論	丸川哲史
41	98.6	当選作なし		水のはじまり	長田 司	丸山真男論 文学の位置—森鷗外試論 物語の外部・構造化の軌跡 淳論序説	鎌田哲哉 千葉一幹 日比勝敏	優秀作なし	
42	99.6	当選作なし		優秀作なし		当選作なし		中原中也の「履歴」 批評と文芸批評と	山岡頼弘 水谷真人
43	2000.6	(世界記録)	横田 創	フリースタイルのいろんな話	中井佑治	当選作なし		つぎ合わせの器は、ナイフで切られた果物となりえるか？	生田武志
44	2001.6	蚤の心臓ファンクラブ	萩原 亨	シルエット	島本理生	法の執行停止—森鷗外の歴史小説	青木純一	優秀作なし	
45	2002.6	死せる魂の幻想 ジャイロ!	寺村朋輝 早川大介	優秀作なし		他者の在処—芥川の言語論	伊藤氏貴	神々の闘争—折口信夫論	安藤礼二
46	2003.6	火薬と愛の星	森 健	授乳 鼠と肋骨	村田沙耶香 脇坂 綾	『奇跡』の一角	佐藤康智	優秀作なし	
47	2004.6	狐寝入夢虜	十文字実香	サージウスの死神	佐藤憲胤	当選作なし		変な気持 汽車に乗る中野重治	中井秀明 和田茂俊
48	2005.6	さよなら アメリカ	樋口直哉	グルメな女と優しい男	望月あんね	当選作なし		過去—メタファー 中国—ある『アフターダーク』論— 赤坂真理	水牛健太郎 山田茂
49	2006.6	憂鬱なハスビーン 無限のしもべ	朝比奈あすか 木下古栗	煙幕	深津 望	当選作なし		乖離する私—中村文則—	田中弥生
50	2007.6	アサッテの人	諏訪哲史	だだだな町、ぐぐぐなおれ	広小路尚祈	当選作なし		《無限》の地平の《彼方》へ— チェーホフのリアリズム デジタル キータッチ 具体的な指触り	岩月 悟 橋本勝也
51	2008.6	子守唄しか聞こえない	松尾依子	優秀作なし		囲われない批評—東浩紀と中原昌也	武田将明	優秀作なし	
52	2009.6	カメレオン狂のための戦争学習帳	丸岡大介	優秀作なし		言語についての小説—リービ英雄論	永岡杜人	批評論事始	伊東祐吏
53	2010.6	朝が止まる 後悔さきにたたず	浅川継太 野水陽介	優秀作なし		当選作なし		福田恆存VS武智鉄二—西洋か伝統か、それが問題だ!	飯塚数人
54	2011.6	美しい私の顔	中納直子	優秀作なし		1%の俳句—一挙性・露呈性・写生	彌榮浩樹	優秀作なし	
55	2012.6	架空列車	岡本学	泡をたたき割る人魚は グッバイ、こおろぎ君。	片瀬チヲル 藤崎和男	当選作なし		優秀作なし	